



# メンテナンス設定手順 StorageGRID Appliances

NetApp  
June 13, 2024

This PDF was generated from <https://docs.netapp.com/ja-jp/storagegrid-appliances/sg6100/upgrading-santricity-os-on-storage-controllers-using-grid-manager-sg6160.html> on June 13, 2024. Always check [docs.netapp.com](https://docs.netapp.com) for the latest.

# 目次

メンテナンス設定手順 .....	1
Upgrade SANtricity (SG6160) .....	1
SANtricity System Managerを使用したドライブファームウェアのアップグレード (SG6160) .....	8
[Manage Drives]タブを使用 (SGF6112) .....	18
SGF6112アプライアンスまたはSG6100-CNコントローラの識別LEDのオンとオフの切り替え .....	20
データセンターでのSGF6112アプライアンスまたはSG6100-CNコントローラの場所の確認 .....	21
SGF6112アプライアンスまたはSG6100-CNコントローラの電源のオンとオフの切り替え .....	22
SGF6112アプライアンスまたはSG6100-CNコントローラのリンク設定を変更 .....	25

# メンテナンス設定手順

## Upgrade SANtricity (SG6160)

**Grid Manager**を使用して**SG6160**ストレージコントローラの**SANtricity OS**をアップグレードする

SANtricity OS 08.42.20.00 (11.42) 以降を現在使用しているストレージコントローラでは、Grid Managerまたはメンテナンスモードを使用してアップグレードを適用できません。

作業を開始する前に

- アップグレードするSANtricity OSのバージョンを取得していない場合 "[ネットアップのダウンロード：StorageGRID アプライアンス](#)"、あなたは相談しました "[ネットアップのダウンロード：StorageGRID アプライアンス](#)" または "[ネットアップの Interoperability Matrix Tool \(IMT\)](#)" アップグレードに使用しているSANtricity OSのバージョンがアプライアンスと互換性があることを確認します。
- を使用することができます "[Maintenance権限またはRoot Access権限](#)"。
- を使用して Grid Manager にサインインします "[サポートされている Web ブラウザ](#)"。
- プロビジョニングパスフレーズを用意します。

このタスクについて

SANtricity OSのアップグレード中は、他のソフトウェアの更新（StorageGRIDソフトウェアのアップグレードまたはホットフィックス）を実行することはできません。SANtricity OS のアップグレードプロセスが完了する前にホットフィックスや StorageGRID ソフトウェアのアップグレードを開始しようとすると、SANtricity OS のアップグレードページが表示されます。

手順 は、アップグレード対象として選択されたすべての該当ノードに SANtricity OS のアップグレードが正常に適用されるまでは完了しません。各ノードの SANtricity OS を（順次）ロードする場合は 30 分以上、各 StorageGRID ストレージアプライアンスをリブートする場合は最大 90 分かかることがあります。グリッド内の SANtricity OS を使用していないノードは、この手順 の影響を受けません。



次の手順は、Grid Manager を使用してアップグレードを実行する場合にのみ実行できます。08.42.20.00 (11.42) より前のSANtricity OSをコントローラで使用している場合、アプライアンスのストレージコントローラをGrid Managerを使用してアップグレードできません。



この手順 は、SANtricity OS のアップグレードに関連付けられた最新バージョンに NVSRAM を自動的にアップグレードします。NVSRAMのアップグレードファイルを別途適用する必要はありません。



この手順 を開始する前に、最新のStorageGRID ホットフィックスを適用してください。を参照してください "[StorageGRID ホットフィックス手順](#)" を参照してください。

手順

1. [download-santricity-os]]から新しいSANtricity OSソフトウェアファイルをダウンロードします "[ネットアップのダウンロード：StorageGRID アプライアンス](#)"。

ご使用のストレージコントローラに対応する SANtricity OS バージョンを選択してください。

2. 「 \* maintenance \* > \* System \* > \* Software update \* 」を選択します。

## Software update

You can upgrade StorageGRID software, apply a hotfix, or upgrade the SANtricity OS software on StorageGRID storage appliances. NetApp recommends you apply the latest hotfix before and after each software upgrade. Some hotfixes are required to prevent data loss.

StorageGRID upgrade	StorageGRID hotfix	SANtricity OS update
Upgrade to the next StorageGRID version and apply the latest hotfix for that version.	Apply a hotfix to your current StorageGRID software version.	Update the SANtricity OS software on your StorageGRID storage appliances.
<a href="#">Upgrade →</a>	<a href="#">Apply hotfix →</a>	<a href="#">Update →</a>

3. SANtricity OS アップデートセクションで、 \* アップデート \* を選択します。

SANtricity OSのアップグレードページが表示され、各アプライアンスノードの次の詳細が表示されます。

- ノード名
- サイト
- アプライアンスのモデル
- SANtricity OSのバージョン
- ステータス
- 前回のアップグレードステータス

4. アップグレード可能なすべてのアプライアンスの表の情報を確認します。すべてのストレージコントローラのステータスが「Nominal」であることを確認します。いずれかのコントローラのステータスが \* Unknown である場合は、 Nodes > **\*appliance node\*** Hardware \* に移動して問題 を調査し、解決してください。
5. NetApp Support Site からダウンロードしたSANtricity OSアップグレードファイルを選択します。
  - a. [ \* 参照 \* ] を選択します。
  - b. ファイルを探して選択します。
  - c. 「 \* 開く \* 」 を選択します。

ファイルがアップロードされて検証されます。検証プロセスが完了すると、 \* Browse \* ボタンの横に緑色のチェックマークが付いたファイル名が表示されます。ファイル名は検証プロセスの一部であるため、変更しないでください。

6. プロビジョニングパスフレーズを入力し、 \* Continue \* を選択します。

アップグレードされたノードのサービスを再起動するとブラウザの接続が一時的に失われる可能性があることを示す警告ボックスが表示されます。

7. [はい]\*を選択して、SANtricity OSのアップグレードファイルをプライマリ管理ノードにステージングします。

SANtricity OS のアップグレードを開始すると、次の処理が行わ

- a. 健全性チェックが実行されます。このプロセスにより、ステータスが「Needs Attention」になっているノードがないかどうか確認されます。



エラーが報告された場合は、エラーを解決してから、「\* Start \*（開始）」を再度選択します。

- b. SANtricity OS Upgrade Progress テーブルが表示されます。この表には、グリッド内のすべてのストレージノードと、各ノードのアップグレードの現在のステージが表示されます。



すべてのアプライアンスストレージノードが表に表示されます。ソフトウェアベースのストレージノードは表示されません。アップグレードが必要なすべてのノードに対して「\* 承認」を選択します。

## SANtricity OS

✓ Upload files — 2 Upgrade

Approved nodes are added to a queue and upgraded sequentially. Each node can take up to 30 minutes, which includes updating NVSRAM. When the upgrade is complete, the node is rebooted.

Select **Approve all** or approve nodes one at a time. To remove nodes from the queue, select **Remove all** or remove nodes one at a time. If the uploaded file doesn't apply to an approved node, the upgrade process skips that node and moves to the next node in the queue.

Optionally, select **Skip nodes and finish** to end the upgrade and skip any unapproved nodes.

SANtricity OS upgrade file: RCB\_11.70.3\_280x\_6283a64d.dlp

0 out of 3 completed

Approve all Remove all

Node name	Current version	Progress	Stage	Details	Status	Actions
10-224-2-24-S1	08.40.60.01	<div></div>	Waiting for you to approve		Nominal	<a href="#">Approve</a>
lab-37-sgws-quanta-10	08.73.00.00	<div></div>	Waiting for you to approve		Nominal	<a href="#">Approve</a>
storage-7	98.72.09.00	<div></div>	Waiting for you to approve		Nominal	<a href="#">Approve</a>

Skip nodes and finish

8. 必要に応じて、リストのノードを昇順または降順でソートします。

- ノード名
- 現在のバージョン
- 進捗状況
- 段階
- ステータス

[検索 (Search) ]ボックスに用語を入力して、特定のノードを検索することもできます。

- アップグレードキューに追加する準備ができたグリッドノードを承認します。承認されたノードは一度に1つずつアップグレードされます。



アプライアンスストレージノードを停止およびリブートする準備ができていることを確認するまでは、そのノードのSANtricity OSのアップグレードを承認しないでください。ノードで SANtricity OS のアップグレードが承認されると、そのノードのサービスが停止し、アップグレードプロセスが開始されます。その後、ノードのアップグレードが完了すると、アプライアンスノードがリブートされます。このような処理を実行すると、ノードと通信しているクライアントで原因 サービスが中断する可能性があります。

- すべてのストレージノードをSANtricity OSのアップグレードキューに追加するには、\***[すべてを承認]**\* ボタンを選択します。



ノードのアップグレード順序が重要な場合は、ノードまたはノードのグループを1つずつ承認し、各ノードでアップグレードが完了するまで待ってから次のノードを承認します。

- 1 つ以上の \* 承認 \* ボタンを選択して、SANtricity OS アップグレードキューに 1 つ以上のノードを追加します。[Status]が[Nominal]でない場合、[Approve]\*ボタンは無効になります。

[\* Approve \* (承認) ]を選択すると、アップグレードプロセスによってノードをアップグレードできるかどうかが決まります。ノードをアップグレード可能な場合は、アップグレードキューに追加されます。

ノードによっては、選択したアップグレードファイルが意図的に適用されていないため、これらのノードをアップグレードせずにアップグレードプロセスを完了することができます。ノードが意図的にアップグレードされていない状態になると、「complete」（アップグレード試行）と表示され、ノードがアップグレードされなかった理由が Details 列に表示されます。

- SANtricity OS アップグレードキューからノードまたはすべてのノードを削除する必要がある場合は、「\* Remove \*」または「\* Remove All \*」を選択します。

ステージが Queued を超えると、「\* Remove \*」ボタンは非表示になり、SANtricity OS のアップグレード処理からノードを削除できなくなります。

- 承認された各グリッドノードに SANtricity OS のアップグレードが適用されるまで待ちます。

- SANtricity OSのアップグレードの適用中にいずれかのノードの[Stage]列が「Error」になっている場合、そのノードのアップグレードは失敗しています。テクニカルサポートの助言を受けて、アプライアンスをリカバリするためにメンテナンスモードに切り替えることが必要になる場合があります。
- ノードのファームウェアが古すぎてGrid Managerを使用してアップグレードできない場合は、[Stage]列に「Error」と表示され、ノードのSANtricity OSをアップグレードするにはメンテナンスモードを使

用する必要があるという詳細情報が表示されます。エラーを解決するには、次の手順を実行します。

- i. メンテナンスモードを使用して、「エラー」のステージが表示されるノードの SANtricity OS をアップグレードします。
- ii. Grid Manager を使用して、SANtricity OS のアップグレードを再起動して完了します。

承認済みのすべてのノードでSANtricity OSのアップグレードが完了すると、SANtricity OS Upgrade Progress]テーブルが閉じ、アップグレードされたノード数とアップグレードが完了した日時を示す緑のバーが表示されます。

12. ノードをアップグレードできない場合は、[Details]列に表示された理由をメモして適切に対処します。



表示されたすべてのストレージノードで SANtricity OS のアップグレードを承認するまで、SANtricity OS のアップグレードプロセスは完了しません。

理由	推奨される対処方法
ストレージノードはすでにアップグレードされています。	これ以上の操作は必要ありません。
このノードではSANtricity OSのアップグレードは実行できません。	StorageGRID システムで管理できるストレージコントローラがノードにありません。このメッセージが表示されているノードをアップグレードせずに、アップグレードプロセスを完了します。
SANtricity OSファイルがこのノードに対応していません。	ノードには、選択したファイルとは別のSANtricity OSファイルが必要です。現在のアップグレードが完了したら、ノードの正しい SANtricity OS ファイルをダウンロードして、アップグレードプロセスを繰り返します。

13. ノードの承認を終了し、SANtricity OS ページに戻って新しい SANtricity OS ファイルのアップロードを許可する場合は、次の手順を実行します。

- a. [ノードをスキップして終了]を選択します。

該当するすべてのノードをアップグレードせずにアップグレードプロセスを終了するかどうかを確認する警告が表示されます。

- b. 「\* OK \*」を選択して、「\* SANtricity OS \*」ページに戻ります。

- c. ノードの承認を続行する準備ができたなら、[SANtricity OSをダウンロードします](#) をクリックしてアップグレードプロセスを再開してください。



すでに承認され、エラーなしでアップグレードされたノードはアップグレードされたまま

14. 別の SANtricity OS アップグレードファイルが必要な、完了段階のノードすべてについて、このアップグレード手順を繰り返します。



ステータスが「Needs Attention」のノードがある場合は、メンテナンスモードを使用してアップグレードを実行します。



"NetApp Interoperability Matrix Tool で確認できます"

"メンテナンスモードを使用したSG6160コントローラのSANtricity OSのアップグレード"

## メンテナンスモードを使用した**SG6160**ストレージコントローラの**SANtricity OS**のアップグレード

メンテナンスモードを使用して、SG6160コントローラのSANtricity OSをアップグレードできます。

08.42.20.00（11.42）より前の SANtricity OS を使用しているストレージコントローラの場合、メンテナンスモード手順 を使用してアップグレードを適用する必要があります。



08.42.20.00（11.42）よりも新しいSANtricity OSを現在使用しているストレージコントローラの場合は、"[Grid Managerを使用してアップグレードを適用する](#)"。ただし、保守モードの手順は、必要に応じて使用することも、テクニカルサポートから指示があった場合に使用することもできます。

作業を開始する前に

- を参照してください "[ネットアップの Interoperability Matrix Tool （IMT）](#)" アップグレードに使用している SANtricity OS のバージョンがアプライアンスと互換性があることを確認します。
- SG6160コントローラは次の場所に配置する必要があります。"[メンテナンスモード](#)"E4000ストレージコントローラへのすべてのI/Oが停止します。



まれに、StorageGRID アプライアンスをメンテナンスモードにすると、アプライアンスにリモートアクセスできなくなることがあります。

このタスクについて

一度に複数のStorageGRIDアプライアンスでストレージコントローラのSANtricity OSまたはNVSRAMをアップグレードしないでください。



一度に複数の StorageGRID アプライアンスをアップグレードすると、導入モデルや ILM ポリシーによっては、原因 データを使用できなくなる可能性があります。

手順

1. アプライアンスがに接続されていることを確認します "[メンテナンスモード](#)"。
2. サービスラップトップから、SANtricity System Manager にアクセスしてサインインします。
3. 新しい SANtricity OS ソフトウェアファイルと NVSRAM ファイルを管理クライアントにダウンロードします。



NVSRAM は、StorageGRID アプライアンスに固有です。標準のNVSRAMダウンロードは使用しないでください。

4. SANtricity OS\_guide または SANtricity System Manager のオンラインヘルプの指示に従って、ファームウェアと NVSRAM をアップグレードします。





アップグレードファイルはただちにアクティブ化する必要があります。アクティベーションを延期しないでください。

5. この手順 が正常に完了し、ノードを保守モードにしている間に実行する追加の手順がある場合は、すぐに実行します。処理が完了した場合、または何らかの障害が発生して最初からやり直したい場合は、 \* Advanced \* > \* Reboot Controller \* を選択し、次のいずれかのオプションを選択します。

- [Reboot into StorageGRID (の再起動)] を選択します
- メンテナンスモードを維持したままコントローラをリブートするには、 \* Reboot into Maintenance Mode \* を選択します。手順 で障害が発生したために最初からやり直す場合は、このオプションを選択します。ノードのリブートが完了したら、障害が発生した手順 の該当する手順から再起動します。



アプライアンスがリブートしてグリッドに再参加するまでに最大 20 分かかることがあります。リブートが完了し、ノードが再びグリッドに参加したことを確認するには、Grid Manager に戻ります。

[Nodes] ページに正常なステータス（緑のチェックマークアイコン）が表示されます（ノード名の左側）に表示されます。これは、アクティブなアラートがなく、ノードがグリッドに接続されていることを示します。

DASHBOARD

ALERTS

Current

Resolved

Silences

Rules

Email setup

**NODES**

TENANTS

ILM

CONFIGURATION

MAINTENANCE

SUPPORT

## Nodes

View the list and status of sites and grid nodes.

Search...

Total node count: 14

Name	Type	Object data used	Object metadata used	CPU usage
StorageGRID Deployment	Grid	0%	0%	—
^ Data Center 1	Site	0%	0%	—
DC1-ADM1	Primary Admin Node	—	—	21%
DC1-ARC1	Archive Node	—	—	8%
DC1-G1	Gateway Node	—	—	10%
DC1-S1	Storage Node	0%	0%	29%

## SANtricity System Managerを使用したドライブファームウェアのアップグレード (SG6160)

### SANtricity System Managerオンライン方式 (SG6160) を使用したSG6100ドライブファームウェアのアップグレード

SANtricity System Managerオンライン方式を使用してアプライアンスのドライブのファームウェアをアップグレードし、最新の機能とバグ修正をすべて適用します。



この手順は、SG6100-CNのNVMe SSDには\*適用されません。SG6100-CNはStorageGRIDソフトウェアのアップグレード時に更新されます。この手順を使用して更新できるのは、E4000内のドライブのみです。

作業を開始する前に

- ストレージアプライアンスのステータスが「最適」であることを確認します。
- すべてのドライブのステータスが最適な状態である必要があります



一度に複数のStorageGRID アプライアンスでドライブファームウェアをアップグレードしないでください。ご使用の導入モデルとILMポリシーによっては、原因 のデータを使用できなくなる可能性があります。

このタスクについて

ドライブは、アプライアンスのI/O実行中に一度に1つずつアップグレードされます。この方法では、アプライアンスをメンテナンスモードにする必要はありません。ただし、システムのパフォーマンスに影響が出る可能性があり、アップグレードにはオフラインの場合よりも数時間かかることがあります。



冗長性がないボリュームに属するドライブは、を使用して更新する必要があります。"オフラインホウシキ"。現在デグレード状態のプールまたはボリュームグループには、オフライン方式を使用する必要があります。

手順

1. 次のいずれかの方法で SANtricity System Manager にアクセスします。
  - StorageGRID アプライアンス・インストーラを使用して、\* アドバンスド \* > \* SANtricity システム・マネージャ \* を選択します
  - グリッドマネージャを使用して、\* nodes > \_ **Storage Node** \_ > \* SANtricity System Manager \* を選択します
  - SANtricity System ManagerでストレージコントローラのIPにアクセスします。

**https://Storage\_Controller\_IP**

2. 必要に応じて、SANtricity System Manager 管理者のユーザ名とパスワードを入力します。
3. ストレージアプライアンスに現在インストールされているドライブファームウェアのバージョンを確認し

ます。

- a. SANtricity システムマネージャで、\* support \* > \* Upgrade Center \* を選択します。
- b. ドライブファームウェアのアップグレードで、\* アップグレードの開始 \* を選択します。

[ドライブファームウェアのアップグレード]ページには、現在インストールされているドライブファームウェアファイルが表示されます。

- c. 現在のドライブファームウェア列に表示されているドライブファームウェアのリビジョンとドライブ ID をメモします。

Upgrade Drive Firmware

1 Select Upgrade Files

Review your current drive firmware and select upgrade files below...

[What do I need to know before upgrading drive firmware?](#)

Current Drive Firmware
MS02, KPM51VUG800G

Total rows: 1 |

次の例では、

- ドライブファームウェアのリビジョンは \* MS02 \* です。
  - ドライブ識別子は **KPM51VUG800G** です。
- d. Associated Drives 列で「\* View drives 」を選択して、ストレージアプライアンス内のドライブがどこに取り付けられているかを表示します。
  - e. ドライブファームウェアのアップグレードウィンドウを閉じます。
4. 使用可能なドライブファームウェアのアップグレードをダウンロードして準備します。
- a. ドライブファームウェアのアップグレードで、\* ネットアップサポート \* を選択します。
  - b. NetApp Support Site で、[ダウンロード]\*タブを選択し、[Eシリーズディスクドライブファームウェア]\*を選択します。
- E-Series Disk Firmware ページが表示されます。
- c. ストレージアプライアンスにインストールされているドライブ識別子 \* をそれぞれ検索し、各ドライブ識別子に最新のファームウェアリビジョンが適用されていることを確認します。
- ファームウェアリビジョンがリンクでない場合、このドライブ識別子には最新のファームウェアリビジョンが含まれます。
  - ドライブ識別子が記載されたドライブのパーツ番号が 1 つ以上であれば、それらのドライブでフ

ファームウェアのアップグレードを実行できます。任意のリンクを選択してファームウェアファイルをダウンロードできます。

PRODUCTS ▾ SYSTEMS ▾ DOCS & KNOWLEDGEBASE ▾ COMMUNITY ▾ DOWNLOADS ▾ TOOLS ▾ CASES ▾ PARTS ▾

Downloads > Firmware > E-Series Disk Firmware

## E-Series Disk Firmware

Download all current E-Series Disk Firmware

Drive Part Number ▾	Descriptions ▾	Drive Identifier ▾	Firmware Rev. (Download)	Notes and Config Info	Release Date ▾
<input type="text" value="Drive Part Number"/>	<input type="text" value="Descriptions"/>	<input type="text" value="KPM51VUG800G"/>	<input type="text" value="Firmware Rev. (Download)"/>		
E-X4041C	SSD, 800GB, SAS, PI	KPM51VUG800G	MS03	MS02 Fixes <a href="#">Bug 1194908</a> MS03 Fixes <a href="#">Bug 1334862</a>	04-Sep-2020

- d. 新しいファームウェアリビジョンがリストされている場合は、ファームウェアリビジョンのリンクを選択します（ダウンロード）列をクリックしてをダウンロードします .zip ファームウェアファイルを含むアーカイブ。
  - e. サポートサイトからダウンロードしたドライブファームウェアのアーカイブファイルを展開（解凍）します。
5. ドライブファームウェアのアップグレードをインストールします。
- a. SANtricity システムマネージャのドライブファームウェアアップグレードで、\* アップグレードの開始 \* を選択します。
  - b. [\* Browse] を選択し、サポートサイトからダウンロードした新しいドライブファームウェアファイルを選択します。

ドライブファームウェアファイルの名前は次のようになります。  
D\_HUC101212CSS600\_30602291\_MS01\_2800\_0002.dlp。

ドライブファームウェアファイルは一度に 1 つずつ、最大 4 つまで選択できます。同じドライブに複数のドライブファームウェアファイルが対応している場合は、ファイル競合エラーが発生します。アップグレードに使用するドライブファームウェアファイルを決定し、それ以外のファイルは削除します。

- c. 「\* 次へ \*」を選択します。
  - ドライブの選択 \* には、選択したファームウェアファイルでアップグレードできるドライブがリストされています。

対応しているドライブのみが表示されます。

ドライブに対して選択したファームウェアが\* Proposed Firmware \*列に表示されます。このファームウェアを変更する必要がある場合は、\* 戻る \* を選択します。

- d. [すべてのドライブをオンラインにアップグレード]\*を選択します。ストレージレイでのI/O処理中に、ファームウェアのダウンロードが可能なドライブをアップグレードします。このアップグレード方式を選択した場合、これらのドライブを使用している関連ボリュームへのI/Oを停止する必要はありません。



オンラインアップグレードは、オフラインアップグレードよりも数時間かかることがあります。

- e. テーブルの最初の列で、アップグレードするドライブを選択します。

ベストプラクティスとして、同じモデルのドライブをすべて同じファームウェアリビジョンにアップグレードすることを推奨します。

- f. [開始]\*を選択し、アップグレードを確定します。

アップグレードを停止する必要がある場合は、\* 停止 \* を選択します。実行中のファームウェアのダウンロードは完了します。開始されていないファームウェアのダウンロードはキャンセルされます。



ドライブファームウェアのアップグレードを停止すると、データが失われたり、ドライブを使用できなくなったりする可能性があります。

- g. (オプション) アップグレードされた内容のリストを表示するには、\* ログを保存 \* を選択します。

ログファイルは、ブラウザのダウンロードフォルダにという名前で保存されます latest-upgrade-log-timestamp.txt。

"必要に応じて、ドライバファームウェアのアップグレードエラーのトラブルシューティングを行う"。

## オフライン方式を使用した**SANtricity System Manager**を使用した**SG6100**ドライブファームウェアのアップグレード (**SG6160**)

SANtricity System Managerのオフライン方式を使用してアプライアンスのドライブのファームウェアをアップグレードし、最新の機能とバグ修正をすべて適用します。



この手順は、SG6100-CNのNVMe SSDには\*適用されません。SG6100-CNはStorageGRIDソフトウェアのアップグレード時に更新されます。この手順を使用して更新できるのは、E4000内のドライブのみです。

作業を開始する前に

- ストレージアプライアンスのステータスが「最適」であることを確認します。
- すべてのドライブのステータスが最適な状態である必要があります
- これで完了です "[StorageGRID アプライアンスをメンテナンスモードに切り替えました](#)"。



アプライアンスがメンテナンスモードの間は、停止を伴うストレージ処理を安全に行うために、ストレージコントローラへのI/O (入出力) アクティビティが停止します。



一度に複数のStorageGRID アプライアンスでドライブファームウェアをアップグレードしないでください。ご使用の導入モデルとILMポリシーによっては、原因 のデータを使用できなくなる可能性があります。

このタスクについて

アプライアンスがメンテナンスモードのときに、ドライブが並行してアップグレードされます。プールまたはボリュームグループで冗長性がサポートされていない場合、またはデグレード状態の場合は、オフライン方式を使用してドライブファームウェアをアップグレードする必要があります。フラッシュ読み取りキャッシュに関連付けられたドライブ、またはデグレード状態のプールやボリュームグループにも、オフライン方式を使用する必要があります。オフライン方式では、アップグレード対象のドライブですべてのI/Oアクティビティが停止している間のみファームウェアがアップグレードされます。I/Oアクティビティを停止するには、ノードをメンテナンスモードにします。

オフライン方式はオンライン方式よりも高速で、1台のアプライアンス内の多数のドライブをアップグレードする必要がある場合は、はるかに高速です。ただし、ノードを停止する必要があるため、メンテナンス時間のスケジュール設定や進捗状況の監視が必要になる場合があります。運用手順とアップグレードが必要なドライブの数に最も適した方法を選択します。

#### 手順

1. アプライアンスがに接続されていることを確認します **"メンテナンスモード"**。
2. 次のいずれかの方法で SANtricity System Manager にアクセスします。
  - StorageGRID アプライアンス・インストーラを使用して、**\* アドバンスト \* > \* SANtricity システム・マネージャ \***を選択します
  - グリッドマネージャを使用して、**\* nodes > \* \_ Storage Node \_ > \* SANtricity System Manager \***を選択します
  - SANtricity System ManagerでストレージコントローラのIPにアクセスします。

**`https://Storage_Controller_IP`**

3. 必要に応じて、SANtricity System Manager 管理者のユーザ名とパスワードを入力します。
4. ストレージアプライアンスに現在インストールされているドライブファームウェアのバージョンを確認します。
  - a. SANtricity システムマネージャで、**\* support \* > \* Upgrade Center \***を選択します。
  - b. ドライブファームウェアのアップグレードで、**\* アップグレードの開始 \***を選択します。

[ドライブファームウェアのアップグレード]ページには、現在インストールされているドライブファームウェアファイルが表示されます。

- c. 現在のドライブファームウェア列に表示されているドライブファームウェアのリビジョンとドライブIDをメモします。

## Upgrade Drive Firmware

### 1 Select Upgrade Files

Review your current drive firmware and select upgrade files below...

[What do I need to know before upgrading drive firmware?](#)

#### Current Drive Firmware

MS02, KPM51VUG800G

Total rows: 1



次の例では、

- ドライブファームウェアのリビジョンは \* MS02 \* です。
- ドライブ識別子は **KPM51VUG800G** です。

- d. Associated Drives 列で「 \* View drives 」を選択して、ストレージアプライアンス内のドライブがどこに取り付けられているかを表示します。
  - e. ドライブファームウェアのアップグレードウィンドウを閉じます。
5. 使用可能なドライブファームウェアのアップグレードをダウンロードして準備します。
- a. ドライブファームウェアのアップグレードで、 \* ネットアップサポート \* を選択します。
  - b. NetApp Support Site で、[ダウンロード]\*タブを選択し、[Eシリーズディスクドライブファームウェア]\*を選択します。

E-Series Disk Firmware ページが表示されます。

- c. ストレージアプライアンスにインストールされているドライブ識別子 \* をそれぞれ検索し、各ドライブ識別子に最新のファームウェアリビジョンが適用されていることを確認します。
  - ファームウェアリビジョンがリンクでない場合、このドライブ識別子には最新のファームウェアリビジョンが含まれます。
  - ドライブ識別子が記載されたドライブのパーツ番号が 1 つ以上であれば、それらのドライブでファームウェアのアップグレードを実行できます。任意のリンクを選択してファームウェアファイルをダウンロードできます。



PRODUCTS ▾ SYSTEMS ▾ DOCS & KNOWLEDGEBASE ▾ COMMUNITY ▾ DOWNLOADS ▾ TOOLS ▾ CASES ▾ PARTS ▾

Downloads > Firmware > E-Series Disk Firmware

## E-Series Disk Firmware

Download all current E-Series Disk Firmware

Drive Part Number ▾	Descriptions ▾	Drive Identifier ▾	Firmware Rev. (Download)	Notes and Config Info	Release Date ▾
Drive Part Number	Descriptions	KPM51VUG800G	Firmware Rev. (Download)		
E-X4041C	SSD, 800GB, SAS, PI	KPM51VUG800G	MS03	MS02 Fixes <a href="#">Bug 1194908</a> MS03 Fixes <a href="#">Bug 1334862</a>	04-Sep-2020

- d. 新しいファームウェアリビジョンがリストされている場合は、ファームウェアリビジョンのリンクを選択します（ダウンロード）列をクリックしてをダウンロードします .zip ファームウェアファイルを含むアーカイブ。
  - e. サポートサイトからダウンロードしたドライブファームウェアのアーカイブファイルを展開（解凍）します。
6. ドライブファームウェアのアップグレードをインストールします。
- a. SANtricity システムマネージャのドライブファームウェアアップグレードで、\* アップグレードの開始 \* を選択します。
  - b. [\* Browse] を選択し、サポートサイトからダウンロードした新しいドライブファームウェアファイルを選択します。

ドライブファームウェアファイルの名前は次のようになります。

D\_HUC101212CSS600\_30602291\_MS01\_2800\_0002.dlp。

ドライブファームウェアファイルは一度に 1 つずつ、最大 4 つまで選択できます。同じドライブに複数のドライブファームウェアファイルが対応している場合は、ファイル競合エラーが発生します。アップグレードに使用するドライブファームウェアファイルを決定し、それ以外のファイルは削除します。

- c. 「\* 次へ \*」を選択します。
  - ドライブの選択 \* には、選択したファームウェアファイルでアップグレードできるドライブがリストされています。

対応しているドライブのみが表示されます。

ドライブに対して選択したファームウェアが\* Proposed Firmware \*列に表示されます。このファームウェアを変更する必要がある場合は、\* 戻る \* を選択します。

- d. [すべてのドライブをオフライン（並行処理）にアップグレード]\*を選択します。ドライブを使用するすべてのボリュームですべてのI/Oアクティビティが停止している間にのみ、ファームウェアのダウンロードが可能なドライブをアップグレードします。



この方法を使用する前に、アプライアンスをメンテナンスモードにする必要があります。ドライブファームウェアをアップグレードするには、\*オフライン\*方式を使用する必要があります。



オフライン（並行）アップグレードを使用する場合は、アプライアンスがメンテナンスモードであることが確実にない限り、次の手順に進まないでください。オフラインのドライブファームウェア更新を開始する前にアプライアンスをメンテナンスモードにしないと、原因のデータが失われる可能性があります。

- e. テーブルの最初の列で、アップグレードするドライブを選択します。

ベストプラクティスとして、同じモデルのドライブをすべて同じファームウェアリビジョンにアップグレードすることを推奨します。

- f. [開始]\*を選択し、アップグレードを確定します。

アップグレードを停止する必要がある場合は、\* 停止 \* を選択します。実行中のファームウェアのダウンロードは完了します。開始されていないファームウェアのダウンロードはキャンセルされます。



ドライブファームウェアのアップグレードを停止すると、データが失われたり、ドライブを使用できなくなったりする可能性があります。

- g. （オプション）アップグレードされた内容のリストを表示するには、\* ログを保存 \* を選択します。


ログファイルは、ブラウザのダウンロードフォルダにという名前で保存されます latest-upgrade-log-timestamp.txt。

"必要に応じて、ドライバファームウェアのアップグレードエラーのトラブルシューティングを行う"。

7. 手順が正常に完了したら、ノードをメンテナンスモードにして、追加のメンテナンス手順を実行します。完了したら、または障害が発生してやり直したい場合は、StorageGRID アプライアンスインストーラで \* [コントローラのリブート]\* を選択します。次に、次のいずれかのオプションを選択します。

- \* StorageGRID \* で再起動します。
- メンテナンスモードで再起動します。コントローラをリブートし、ノードをメンテナンスモードのままにします。手順の実行中に障害が発生し、最初からやり直す場合は、このオプションを選択します。ノードのリブートが完了したら、障害が発生した手順の該当する手順から再起動します。

アプライアンスがリブートしてグリッドに再参加するまでに最大 20 分かかることがあります。リブートが完了し、ノードが再びグリッドに参加したことを確認するには、Grid Manager に戻ります。

[Nodes] ページに正常なステータス（緑のチェックマークアイコン）が表示されます  （ノード名の左側）に表示されます。これは、アクティブなアラートがなく、ノードがグリッドに接続されていることを示します。

DASHBOARD	Nodes				
ALERTS <span>✓</span>	View the list and status of sites and grid nodes.				
Current	Search...				
Resolved					
Silences					
Rules					
Email setup					
NODES					
TENANTS					
ILM					
CONFIGURATION					
MAINTENANCE					
SUPPORT					
	Total node count: 14				
Name	Type	Object data used	Object metadata used	CPU usage	
StorageGRID Deployment	Grid	0%	0%	—	
^ Data Center 1	Site	0%	0%	—	
✓ DC1-ADM1	Primary Admin Node	—	—	21%	
✓ DC1-ARC1	Archive Node	—	—	8%	
✓ DC1-G1	Gateway Node	—	—	10%	
✓ DC1-S1	Storage Node	0%	0%	29%	

## ドライブファームウェアのアップグレードエラーのトラブルシューティング (SG6160)

SANtricity System Managerを使用してアプライアンスのドライブのファームウェアをアップグレードするときに発生する可能性があるエラーのトラブルシューティングを行います。

### • \* 割り当て済みドライブの障害 \*

- エラーの理由の 1 つとして、ドライブに適切な署名がない可能性があります。該当するドライブが認定済みのドライブであることを確認します。詳細については、テクニカルサポートにお問い合わせください。
- ドライブを交換する場合は、交換用ドライブの容量が交換する障害ドライブと同じかそれよりも大きいことを確認してください。
- 障害が発生したドライブの交換は、ストレージアレイで I/O を受信中に実行できます

### • \* ストレージアレイを確認してください \*

- 各コントローラに IP アドレスが割り当てられていることを確認します。
- コントローラに接続されているすべてのケーブルが破損していないことを確認します。
- すべてのケーブルがしっかりと接続されていることを確認します。

### • \* 内蔵ホットスペアドライブ \*

ファームウェアをアップグレードする前に、このエラーを修正する必要があります。

### • \* 不完全なボリュームグループ \*

1 つ以上のボリュームグループまたはディスクプールが不完全な場合は、ファームウェアをアップグレードする前に、このエラーを修正する必要があります。

- \* すべてのボリュームグループで実行中の排他的な処理（バックグラウンドメディア / パリティスキャン以外） \*
- 1 つ以上の排他的な処理を実行中の場合は、その処理を完了してからファームウェアをアップグレードする必要があります。System Manager で処理の進捗状況を監視します。
- \* 見つからないボリューム \*
- ファームウェアをアップグレードする前に、ボリュームが見つからない状態を修正する必要があります。
- \* いずれかのコントローラが最適以外の状態 \*
- いずれかのストレージレイコントローラを確認する必要があります。ファームウェアをアップグレードする前に、この状態を修正する必要があります。
- \* コントローラオブジェクトグラフ間でストレージパーティション情報が一致しません \*
- コントローラ上のデータの検証中にエラーが発生しました。この問題を解決するには、テクニカルサポートにお問い合わせください。
- \* SPM によるデータベースコントローラの検証が失敗します \*
- コントローラでストレージパーティションマッピングデータベースのエラーが発生しました。この問題を解決するには、テクニカルサポートにお問い合わせください。
- \* 構成データベースの検証（ストレージレイのコントローラのバージョンでサポートされている場合） \*
- コントローラで構成データベースのエラーが発生しました。この問題を解決するには、テクニカルサポートにお問い合わせください。
- \* MEL 関連のチェック \*
- この問題を解決するには、テクニカルサポートにお問い合わせください。
- \* 過去 7 日間に 10 個を超える DDE 情報または重大 MEL イベントが報告されました \*
- この問題を解決するには、テクニカルサポートにお問い合わせください。
- \* 過去 7 日間に 2 ページ 2C 重大 MEL イベントが報告されました \*
- この問題を解決するには、テクニカルサポートにお問い合わせください。
- \* 過去 7 日間に 2 個以上の低下したドライブチャネル重大 MEL イベントが報告されました \*
- この問題を解決するには、テクニカルサポートにお問い合わせください。
- \* 過去 7 日間に 4 個を超える重大 MEL エントリがあります \*
- この問題を解決するには、テクニカルサポートにお問い合わせください。

## [Manage Drives]タブを使用（SGF6112）

Grid Managerの[Manage Drives]タブを使用して、SGF6112アプライアンスのドライブに対してトラブルシューティングとメンテナンスのタスクを実行できます。

作業を開始する前に

- を使用して Grid Manager にサインインします ["サポートされている Web ブラウザ"](#)。

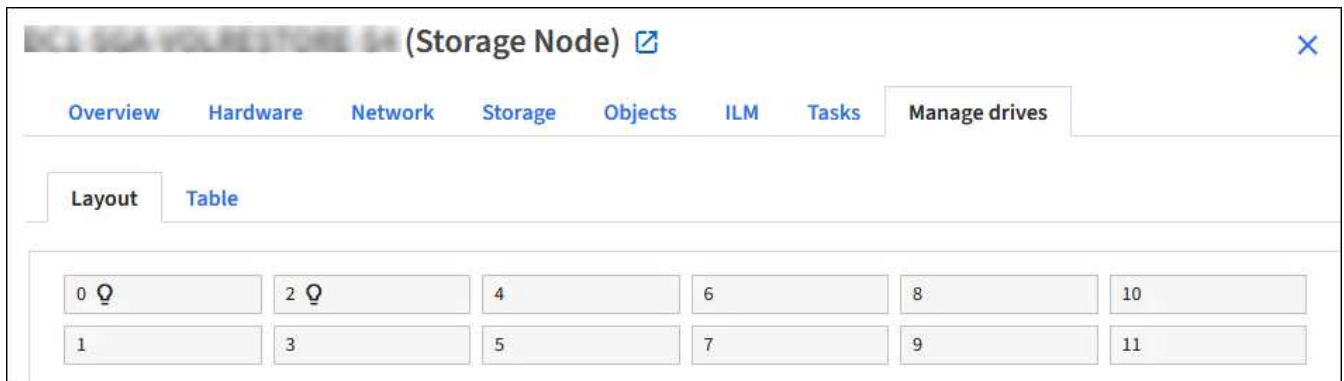
このタスクについて

SGF6112アプライアンスと ["ストレージアプライアンス管理者またはRoot Access権限"](#)アプライアンスの詳細ページに[Manage Drives]タブが表示されます。

[Manage Drives]タブには、次のビューがあります。

レイアウト

アプライアンス内のデータストレージドライブのレイアウト。ドライブの詳細を表示するドライブを選択してください。



タブのレイアウトビュー"]

表

各ドライブの情報が表示されます。ドライブの詳細を表示するドライブを選択してください。

Layout

Table

Search...

Drive location	Type	Status	Firmware	Serial number
HDD00	SSD	Nominal	NQ00	S6L8NE0T100116
HDD01	SSD	Nominal	NQ00	S6L8NE0T100176
HDD02	SSD	Nominal	NQ00	S6L8NE0T100175
HDD03	SSD	Nominal	NQ00	S6L8NE0T100114
HDD04	SSD	Nominal	NQ00	S6L8NE0T100100

タブのテーブルビュー"]

## ドライブの詳細

各ドライブの概要。以下の手順に従って、適切なタスクボタンを選択します。

Drive HDD05 information

Assigned to

DriveGroup0

Capacity

-

Drive firmware version

GDC5802Q

Interface type

NVMe

Location

HDD05

Marketing part number

X4101A

Media type

SSD

Model name

SAMSUNG MZQL23T8HCLS-00A07

Name

nvme2n1

Serial number

S64HNE0R900132

Status

Offline

It might take up to 5 minutes to start drive operations.

Turn locator light on

Logically replace

Fail drive


タブドライブの詳細"]

## ロケータライトをオンまたはオフにする

アプライアンス内のドライブの場所を物理的に確認するには

1. Grid Managerで、`* nodes > *data center*`を選択します。
2. `_ appliance storage node_ > [レイアウト] > *drive*`を選択します。

ドライブの詳細パネルが表示されます。

3. [ロケータライトをオンにする]\*を選択します。
  - 電球アイコン  ドライブに対してと表示されます。
  - 物理ドライブのオレンジのLEDが点滅します。
4. ロケータライトをオフにする場合は、\*ロケータライトをオフにする\*を選択します。

## ドライブの論理的な交換

ストレージアプライアンスのドライブをリビルドまたは再初期化する必要がある場合は、次の手順を実行します。

1. Grid Managerで、\* nodes \*>\*data center\*を選択します。
2. **\_ appliance storage node\_>\***[レイアウト]\*>\*drive\*を選択します。

ドライブの詳細パネルが表示されます。

3. [Logically replace]\*を選択します。

ドライブの詳細パネルで、ドライブのステータスが\_Rebuilding\_と表示されます。ドライブの再構築には最大5分かかることがあります。

## ドライブを使用停止にする

トラブルシューティングのために、障害が発生していると思われるドライブを手動で「使用停止」することができます。この場合、システムはそのドライブなしで動作します。

1. Grid Managerで、\* nodes \*>\*data center\*を選択します。
2. **\_ appliance storage node\_>\***[レイアウト]\*>\*drive\*を選択します。

ドライブの詳細パネルが表示されます。

3. [ドライブの使用停止]\*を選択します。

ドライブを使用停止にしたら、ドライブを物理的に交換するか、または [ドライブを論理的に交換](#)。

## SGF6112アプライアンスまたはSG6100-CNコントローラの識別LEDのオンとオフの切り替え

アプライアンスの前面と背面にある青色の識別LEDを点灯すると、データセンターでアプライアンスの場所を特定できます。

作業を開始する前に

特定するアプライアンスのBMC IPアドレスを確認しておきます。

手順



1. "アプライアンスのBMCインターフェイスへのアクセス"。

2. 「\* サーバー識別 \*」を選択します。

識別LEDの現在のステータスが選択されます。

3. \*オン\*または\*オフ\*を選択し、\*操作の実行\*を選択します。

◦ on \*を選択すると、アプライアンスの前面と背面の青色の識別LEDが点灯します。



コントローラにベゼルが取り付けられている場合、前面の識別 LED が見えにくいことがあります。

背面の識別LEDは、アプライアンスの中央にあるMicro-SDスロットの下にあります。

4. 必要に応じて、識別LEDのオンとオフを切り替えます。

#### 関連情報

["データセンターにアプライアンスを配置します"](#)

## データセンターでのSGF6112アプライアンスまたはSG6100-CNコントローラの場所の確認

ハードウェアのメンテナンスやアップグレードを実行できるように、アプライアンスの場所を確認します。

#### 作業を開始する前に

- メンテナンスが必要なアプライアンスを特定しておきます。
- データセンターでアプライアンスを見つけやすくするには、次の手順を実行します。 ["青色の識別 LED をオンにします"](#)。

#### 手順

1. データセンターでアプライアンスを見つけます。

◦ アプライアンスの前面または背面にある青色の識別LEDが点灯しているかどうかを確認します。

前面識別LEDは前面ベゼルの後ろにあり、ベゼルが取り付けられているかどうかを確認するのが難しい場合があります。



背面の識別LEDは、アプライアンスの中央にあるMicro-SDスロットの下にあります。

- アプライアンスの前面に取り付けられているタグに一致するパーツ番号がないかどうかを調べて、正しいアプライアンスが見つかったことを確認します。
- 2. 前面ベゼルが取り付けられている場合は取り外し、前面パネルのコントロールとインジケータにアクセスします。

完了後

"青色の識別LEDを消灯します。" アプライアンスの場所を確認するには、次のいずれかの方法を使用します。アプライアンスの前面パネルにある識別LEDスイッチを押します。アプライアンスのBMCインターフェイスを使用します。

## SGF6112アプライアンスまたはSG6100-CNコントローラの電源のオンとオフの切り替え

メンテナンスを実施するために、SGF6112アプライアンスまたはSG6100-CNコントローラをシャットダウンして電源を再度オンにすることができます。

**SGF6112アプライアンスまたはSG6100-CNコントローラをシャットダウンします。**

ハードウェアのメンテナンスを実行するには、アプライアンスをシャットダウンします。

作業を開始する前に

- これで完了です "**アプライアンスを物理的に設置します**".

このタスクについて

サービスの中断を回避するには、サービスの中断が許容される時間帯に、スケジュールされたメンテナンス時間内にアプライアンスをシャットダウンします。

手順

1. アプライアンスをシャットダウンします。



次のコマンドを入力して、アプライアンスの制御シャットダウンを実行する必要があります。不要なアラートを回避し、フルログを利用できることを確認し、サービスの停止を回避するために、可能なかぎり通常の方法でシャットダウンすることを推奨します。

- a. グリッドノードにまだログインしていない場合は、PuTTYまたは別のsshクライアントを使用してログ

インします。

- i. 次のコマンドを入力します。 `ssh admin@grid_node_IP`
- ii. に記載されているパスワードを入力します `Passwords.txt` ファイル。
- iii. 次のコマンドを入力してrootに切り替えます。 `su -`
- iv. に記載されているパスワードを入力します `Passwords.txt` ファイル。

rootとしてログインすると、プロンプトがから変わります \$ 終了: #。

- b. アプライアンスをシャットダウンします。 + **shutdown -h now**

このコマンドの実行には 10 分程度かかる場合があります。

2. 次のいずれかの方法で、アプライアンスの電源がオフになっていることを確認します。

- アプライアンス前面の電源 LED を調べて、消灯していることを確認します。
- BMC インターフェイスの電源制御ページで、アプライアンスがオフになっていることを確認します。

## SGF6112またはSG6100-CNの電源をオンにして動作を確認

メンテナンスが完了したら、コントローラの電源をオンにします。

作業を開始する前に

- これで完了です "[キャビネットまたはラックにコントローラを設置](#)" データケーブルと電源ケーブルを接続しました。
- これで完了です "[データセンター内のコントローラの物理的な場所](#)"。

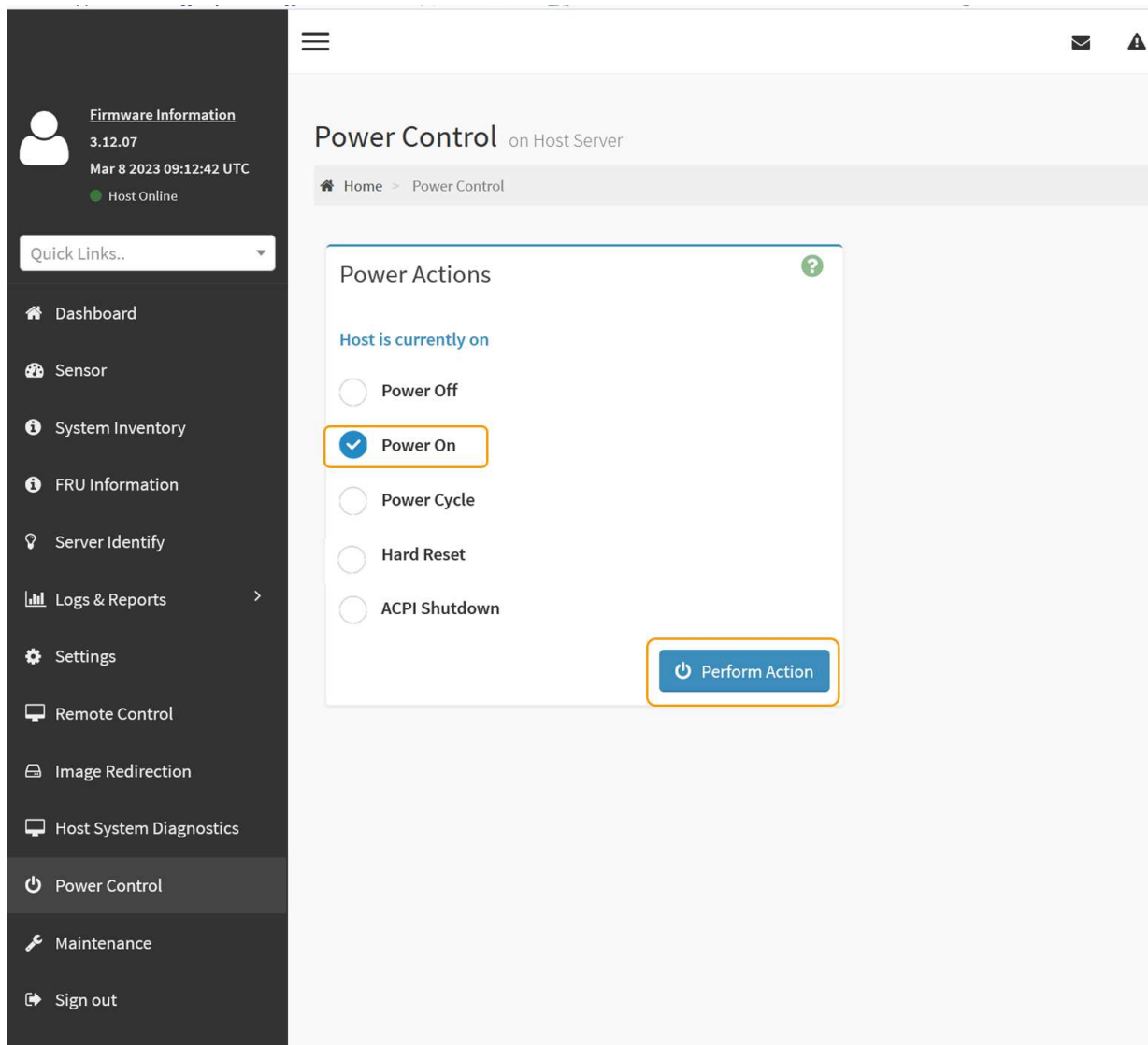
手順

1. アプライアンスの電源をオンにします。

- オプション1：コントローラ前面の電源スイッチを押します。

電源スイッチにアクセスするためにベゼルを取り外しなければならない場合があります。ベゼルを取り外した場合は、あとで再度取り付けてください。

- オプション2：コントローラBMCインターフェイスを使用する：
  - i. "[コントローラBMCインターフェイスへのアクセス](#)"。
  - ii. 「\* 電源制御 \*」を選択します。
  - iii. を選択し、[操作の実行]\*を選択します。



BMC インターフェイスを使用して、起動ステータスを監視します。

2. アプライアンスコントローラが Grid Manager に表示され、アラートがないことを確認します。

コントローラが Grid Manager に表示されるまでに最大 20 分かかることがあります。



このアプライアンスに緑色のアイコンが表示されている場合を除き、別のアプライアンスノードをオフラインにしないでください。

3. PuTTYまたは別のsshクライアントを使用してグリッドノードにログインし、新しいアプライアンスが完全に動作していることを確認します。
  - a. 次のコマンドを入力します。 `ssh Appliance_IP`
  - b. に記載されているパスワードを入力します Passwords.txt ファイル。
  - c. 次のコマンドを入力してrootに切り替えます。 `su -`
  - d. に記載されているパスワードを入力します Passwords.txt ファイル。

rootとしてログインすると、プロンプトがから変わります \$ 終了: #。

## SGF6112アプライアンスまたはSG6100-CNコントローラのリンク設定を変更

ポートボンディングモード、ネットワークボンディングモード、リンク速度など、アプライアンスのイーサネットリンク設定を変更できます。

作業を開始する前に

- これで完了です ["アプライアンスをメンテナンスモードにしました"](#)。



まれに、StorageGRID アプライアンスをメンテナンスモードにすると、アプライアンスにリモートアクセスできなくなることがあります。

### 手順

1. StorageGRID アプライアンスインストーラから、**Configure Networking**>**\*Link Configuration\*** を選択します。
2. リンク設定に必要な変更を加えます。

オプションの詳細については、[を参照してください "ネットワークリンクを設定する"](#)。



アプライアンスのメンテナンスモード中にIP設定を変更した場合、インストールされているStorageGRID環境には適用されません。を実行します [change-ip Command) アプライアンスをStorageGRIDでリブートしたあとに、

3. 選択に問題がなければ、**\* 保存 \*** をクリックします。



接続しているネットワークまたはリンクを変更すると、接続が失われる可能性があります。1分以内に再接続されない場合は、アプライアンスに割り当てられている他のIPアドレスのいずれかを使用してStorageGRID アプライアンスインストーラのURLを再入力します。 **https://appliance\_IP:8443**

4. アプライアンスの IP アドレスに対して必要な変更を行います。

VLAN 設定を変更した場合は、アプライアンスのサブネットが変更されている可能性があります。アプライアンスの IP アドレスを変更する必要がある場合は、[を参照してください "StorageGRID IP アドレスを設定する"](#)。

5. メニューから [ ネットワークの設定 > \*Ping テスト \*] を選択します。
6. アプライアンスの設定時に行ったリンク設定の変更によって影響を受けた可能性のあるネットワーク上の IP アドレスに対して、Ping Test ツールを使用して接続を確認します。

最低でもプライマリ管理ノードのグリッドネットワーク IP アドレスと、1つ以上の他のノードのグリッドネットワーク IP アドレスについて、ping が通ることを確認します。必要に応じて、ネットワークリンクの設定手順に戻り、問題があれば修正します。



7. リンク設定の変更が問題なく機能していることを確認したら、ノードをリブートします。StorageGRID アプライアンス・インストーラから、**Advanced>\*Reboot Controller\*** を選択し、次のいずれかのオプションを選択します。

- グリッドにノードを再追加する場合は、**\*[Reboot into StorageGRID]\*** を選択してコンピューティングコントローラをリブートします。メンテナンスモードで作業を完了し、ノードを通常動作に戻す準備ができている場合は、このオプションを選択します。
- ノードをメンテナンスモードのままにしてコンピューティングコントローラをリブートする場合は、**\*[メンテナンスモードでリブートする]\*** を選択します。（このオプションは、コントローラがメンテナンスモードのときにのみ使用できます）。グリッドに再参加する前にノードで他にもメンテナンス処理を実行する必要がある場合は、このオプションを選択します。



アプライアンスがリブートしてグリッドに再参加するまでに最大 20 分かかることがあります。リブートが完了し、ノードが再びグリッドに参加したことを確認するには、Grid Manager に戻りま

す。[Nodes] ページに正常なステータス（緑のチェックマークアイコン）が表示されます（ノード名の左側）に表示されます。これは、アクティブなアラートがなく、ノードがグリッドに接続されていることを示します。

DASHBOARD

ALERTS

Current

Resolved

Silences

Rules

Email setup

**NODES**

TENANTS

ILM

CONFIGURATION

MAINTENANCE

SUPPORT

## Nodes

View the list and status of sites and grid nodes.

Search...

Total node count: 14

Name	Type	Object data used	Object metadata used	CPU usage
StorageGRID Deployment	Grid	0%	0%	—
^ Data Center 1	Site	0%	0%	—
DC1-ADM1	Primary Admin Node	—	—	21%
DC1-ARC1	Archive Node	—	—	8%
DC1-G1	Gateway Node	—	—	10%
DC1-S1	Storage Node	0%	0%	29%

## 著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。